専攻名　　学籍番号　　名前

　図オブジェクトを「自由に配置できる図」として扱う場合、図の位置を定める方法として2つの方法があります。1つは「文章とともに移動」、もう1つは「位置を固定」です。

　図をクリックすると「レイアウト　オプション」のスマートタグが出現します。これをクリックして選択します。よく使うのは「四角形」と「前面」の2つです。

　図と外側の文章の間隔は「詳細設定」→「文字列の折り返し：文字列との間隔」です。

　図オブジェクトをクリックするとアンカー（錨マーク）が表示されます。図オブジェクトは必ずどこかの段落に結びつけられます。図の位置を固定した場合、アンカーをつけた段落がページを超えて移動すると、図もページを超えて移動します。

　図を移動させるとアンカーが付く段落は最寄りの段落に自動的に変更されます。アンカーをドラッグすると、結びつける段落を変更することができます。アンカーを段落に固定することもできます。「詳細表示」→「位置：オプション」で設定します。

　アンカーが付いた段落を削除すると図も削除されてしまいます。

　この長方形　は「挿入」→「図：図形」→「正方形／長方形」で挿入しました。

　このページの先頭に改行をいくつか入れ、ディスプレイは不動で、長方形は移動することを確認して下さい。

　図形の微調整は拡大率を上げて操作して下さい。カーソル移動キーで位置の微調整ができます。図形の描画・移動・拡大縮小時にshiftキーを押すと几帳面な動作（場合によって動作が異なるので統一した表現は難しい）になります。altキーを押すとカクカクした動きになります。

　複数の図形をまとめて扱いたいときは「描画キャンバス」の中に描きます。「挿入」→「図：図形」→「新しい描画キャンバス」です。描画キャンバスを作成した後、文字列の折り返しは「四角」にして下さい。